

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	城 東
学 校 名	鯉江小学校
学校長名	森元 貴子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小学校では、第6学年 177 名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校の平均正答率は、国語は3.3 p、算数は3.8 p 全国を上回る結果となった。一方平均無回答率は、国語で2 p、算数で1.1 p 低い結果であり、諦めずに問題に取り組んだことが分かる。各領域ごとに見ると、国語では、「言葉の特徴」で全国平均を8.1 p 上回っており、算数では、どの領域でも全国平均を上回る結果となっている。大きく下回る領域はなく、特に課題の強い傾向はうかがえなかった。児童質問紙の回答では、朝食の喫食率が高いことや規則正しい生活が送れていることから、家庭環境が安定していることが分かる。一方、ICT活用の定着や、コロナ禍で地域行事が開催されにくいなど、昨今の環境変化による課題は強く浮き彫りになる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「言葉の特徴」の正答率が高いのは、普段より言葉に興味・関心をもち、本やインターネットで調べられる環境が整っていることに加え、常に正しい言葉遣いを心掛けている成果が出ていると考えられる。「読む」の領域では唯一全国平均を下回る結果となった。質問紙より、全国平均と比較しても読書量が少ないことも影響していることも考えられるが、今般の問題傾向に即した内容の授業展開がなされていないことも多い。求められる学力に応じた授業改善が必要である。

〔算数〕今年度より学力の更なる伸長と底上げを狙い、習熟度別学習を一層充実させてきた。課題のある児童については少人数で学習し、学習内容を確実に定着させることができた。領域別に見ても課題は少ないが、「図形」の学習では大きな差は見られなかった。今後の「図形」領域の学習では、少人数指導の特性を活かし、特に学力に低い児童に対し、手に取って考えることのできる教材の作成や、視覚的に理解できるデジタル教材を有効的に活用していきたい。

質問紙調査より

コロナ禍の休校中には、多くの児童が不安を抱えながら生活してきたが、家庭基盤の影響も大きく、規則正しい生活を継続し、計画的に学習を進めていたことが分かる。しかし、様々な行事が中止せざるを得ない状況となり、活躍の機会が減っていることも影響し、「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標を持っている」の項目では、全国平均を大きく下回る結果となった。国語や算数の学習は大切だと思うと回答する児童も多く、学力も高い水準だが、総合的な学習の時間には、知識を横断的に活用することができておらず、ICTの活用においては思考ツールとして学習に取り入れることはできていない。更に英語の学習では、自分の気持ちを伝えるなどの基本的コミュニケーションスキルに大きく課題が残っている。

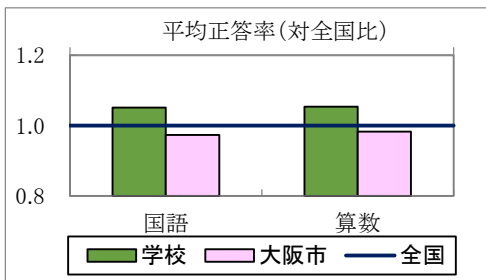
今後の取組(アクションプラン)

実態や発達段階に応じたソーシャルスキルトレーニングやピアサポートを取り入れることや、活躍し褒められる機会や成就感を味わえる機会を学校全体として増やしていくことで、全国平均を大きく下回る結果となった自尊感情の向上を目指したい。また、学習面からのアプローチとして、学習者用端末を常に活用する前提として授業デザインすることや、子どもが自由に思考するためのツールとして活用できる環境にすることなどがあげられる。本調査で対象であった算数と国語では、大きな課題が見られなかったため、これらを足掛かりに、個別最適化された学びや、それらが孤立しないよう協働的な学びを他教科・領域においても推し進めていく。

【 全体の概要 】

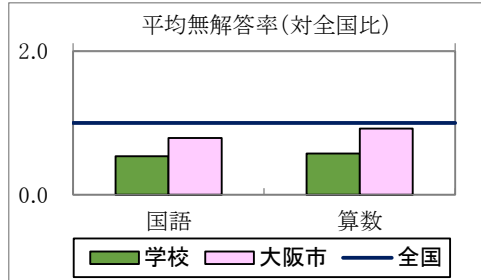
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	68.0	74.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.3	1.5
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



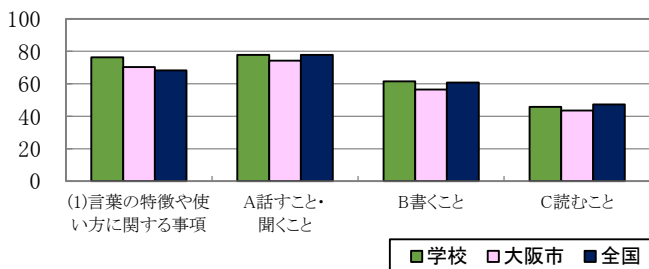
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	76.4	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	77.8	74.3	77.8
B 書くこと	2	61.6	56.4	60.7
C 読むこと	3	45.8	43.5	47.2

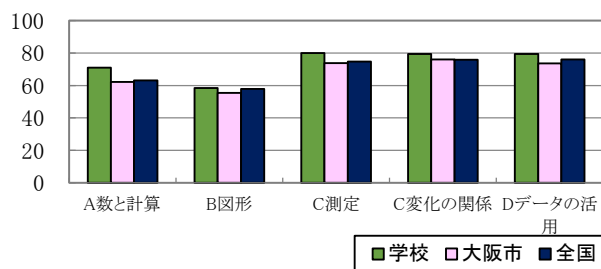
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	71.0	62.2	63.1
B 図形	3	58.5	55.4	57.9
C 測定	3	80.0	73.8	74.8
C 変化と関係	3	79.4	76.0	75.9
D データの活用	5	79.4	73.6	76.0

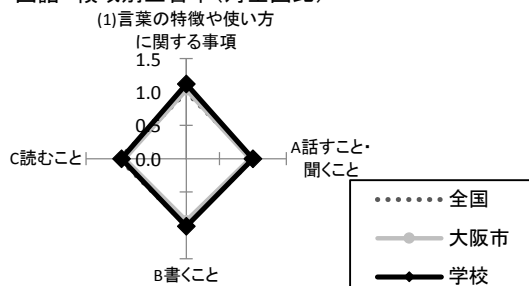
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



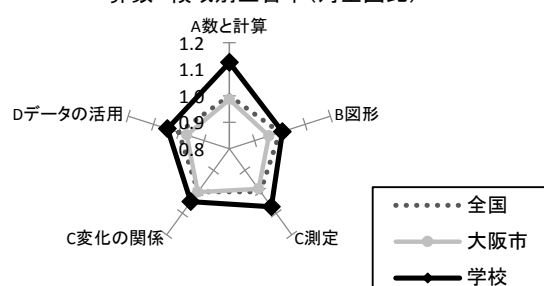
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

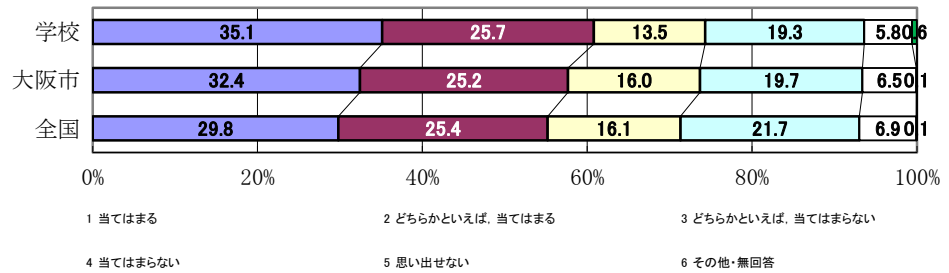
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

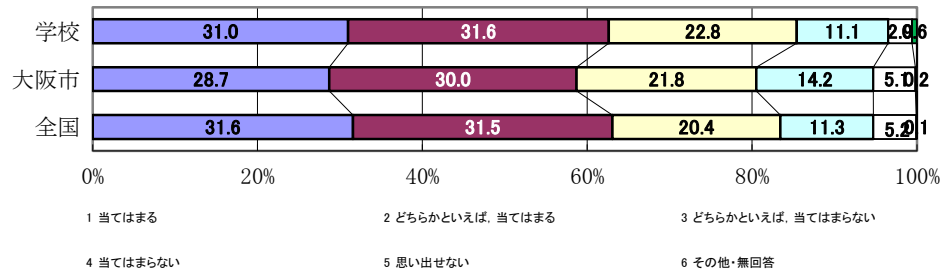
64

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



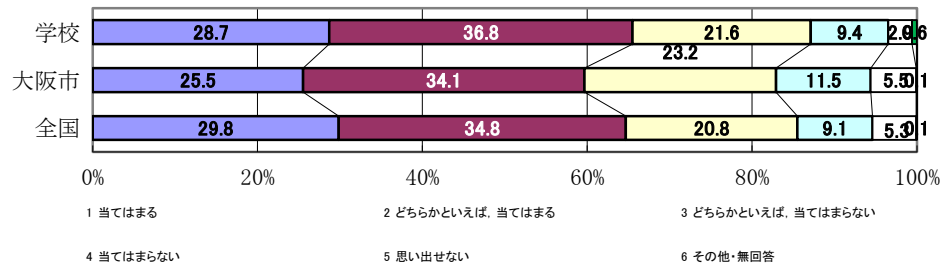
66

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか



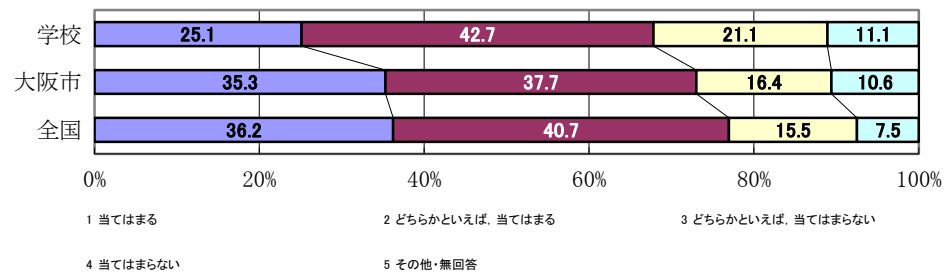
65

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか



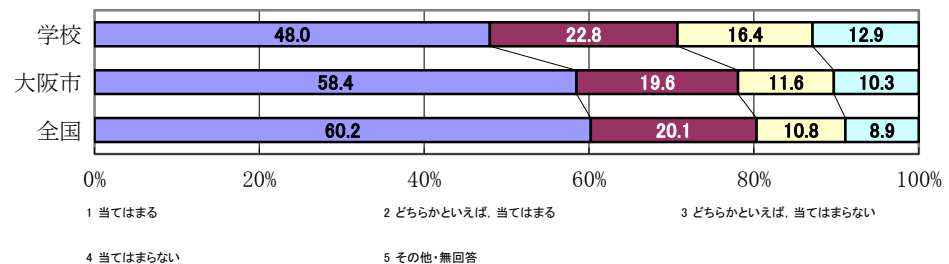
6

自分には、よいところがあると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



児童質問紙より

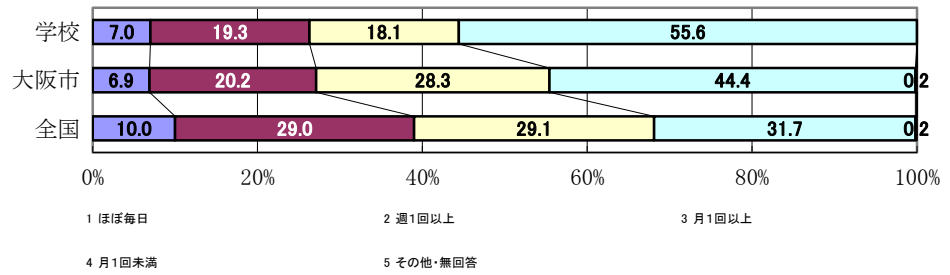
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

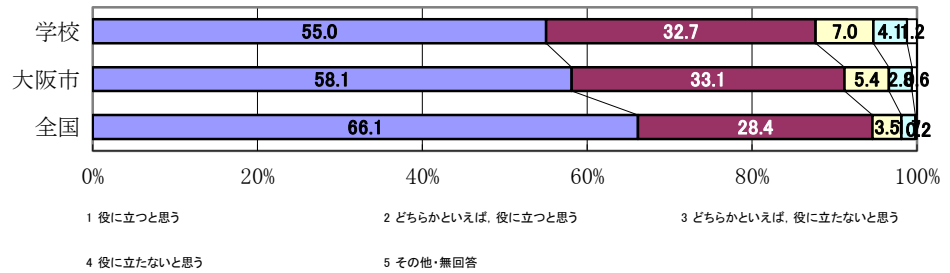
27

あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか



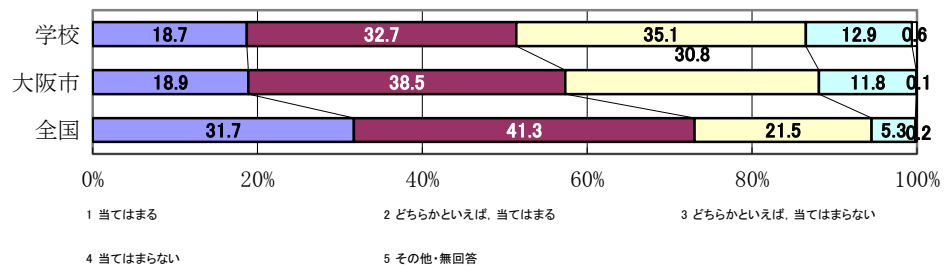
28

学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



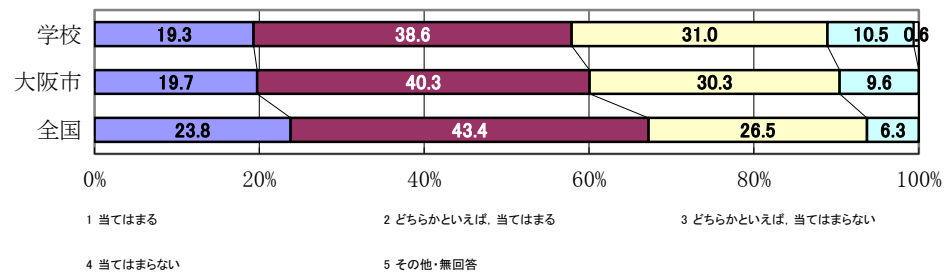
39

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



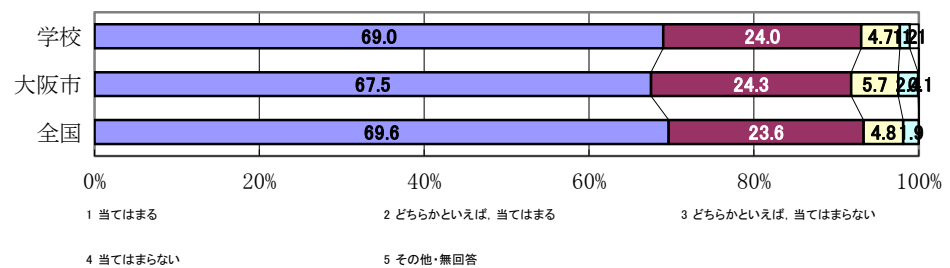
34

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行いましたか



44

国語の勉強は大切だと思いますか



児童質問紙より

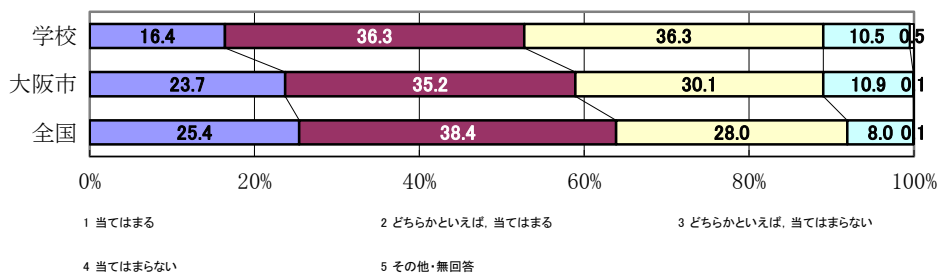
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

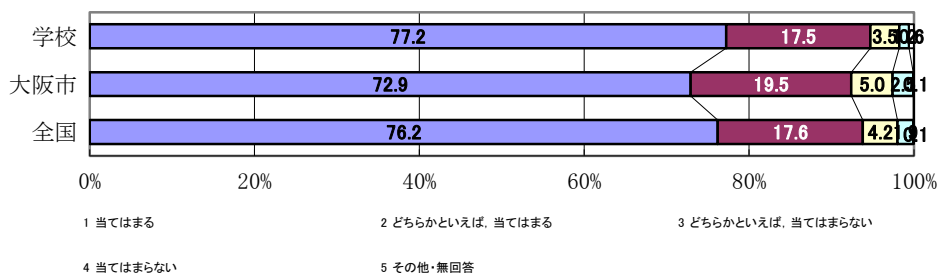
48

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか



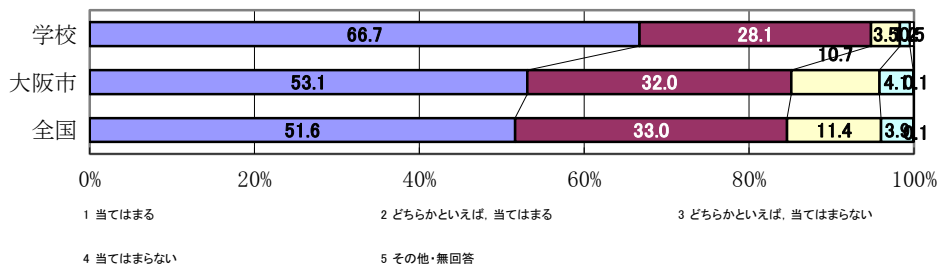
53

算数の勉強は大切だと思いますか



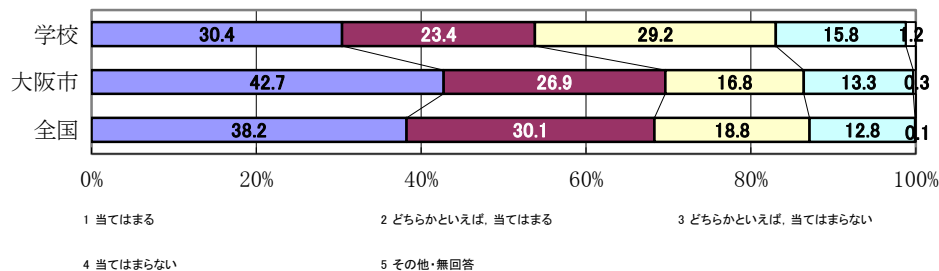
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



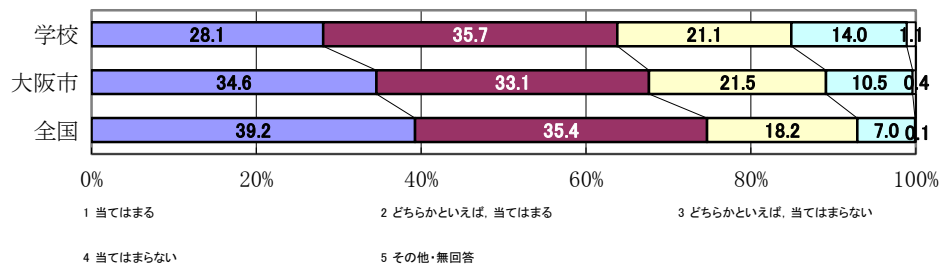
61

英語の勉強は好きですか



62

5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

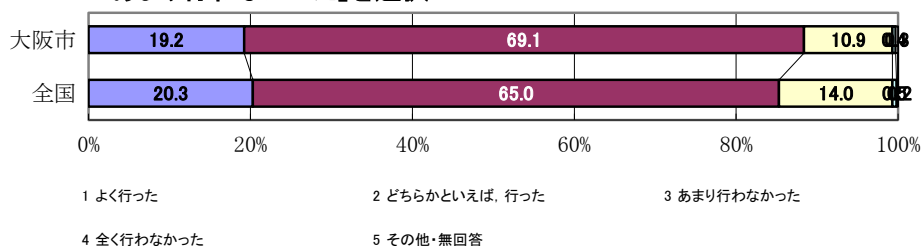
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

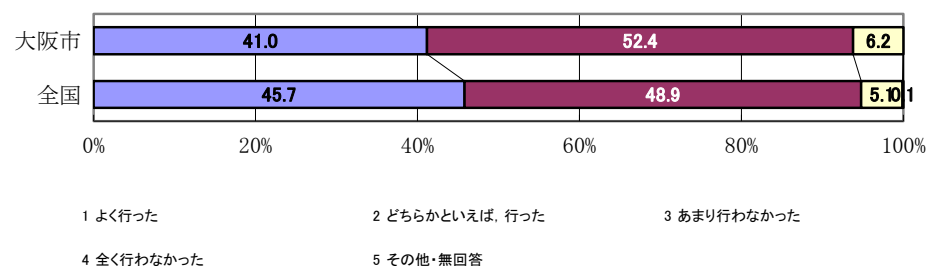
学校 「あまり行わなかった」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

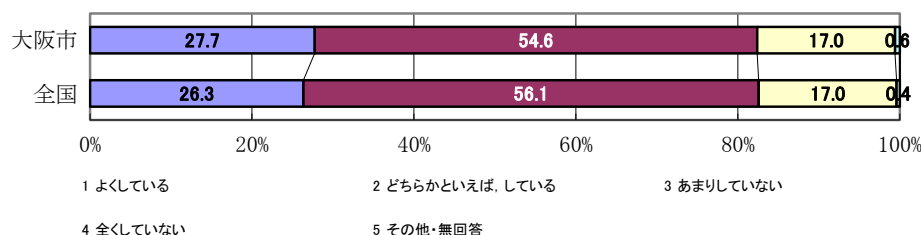
学校 「あまり行わなかった」を選択



24

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

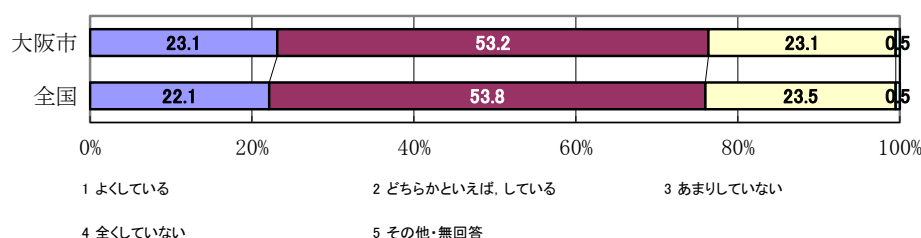
学校 「あまりしていない」を選択



25

個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研修会等に定期的・継続的に参加していますか

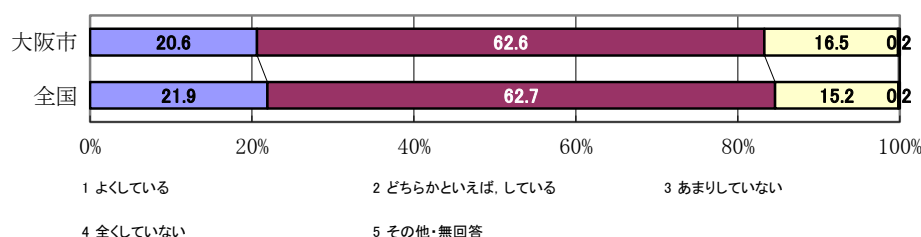
学校 「あまりしていない」を選択



26

教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

学校 「あまりしていない」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

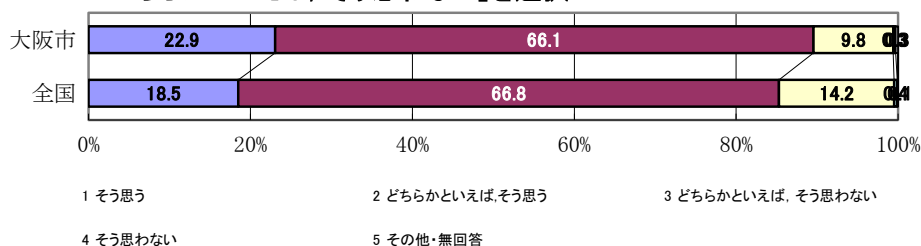
質問番号

質問事項

29

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

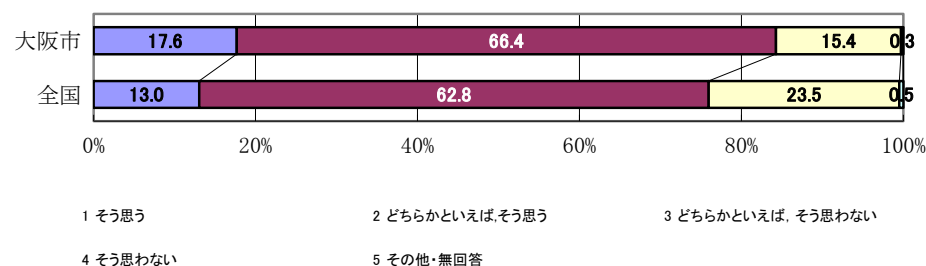
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



32

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

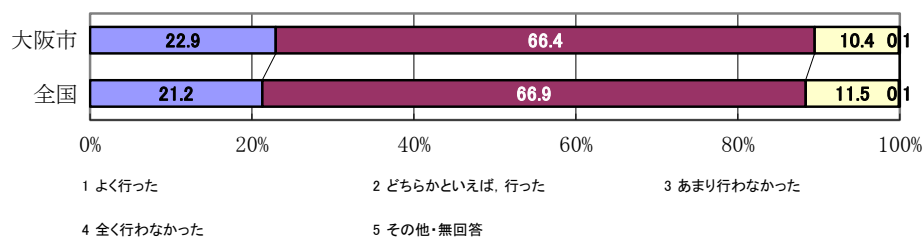
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



36

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

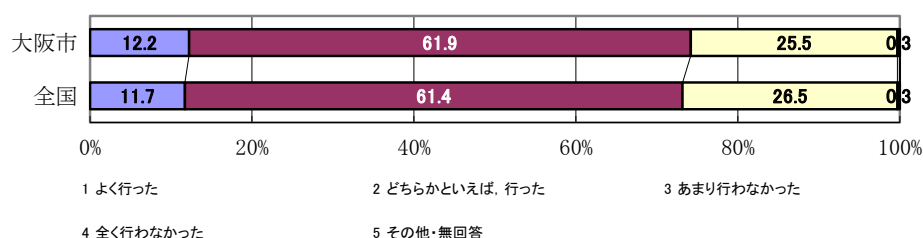
学校 「あまり行わなかった」を選択



38

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過

学校 「あまり行わなかった」を選択



41

調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか

学校 「あまりしていない」を選択

